

美原記念病院ブレインバンクからの年次報告(2022 年度)

Annual reports from Mihara Memorial Hospital Brain Bank (FY 2022)

田野 光敏¹⁾ 中村 美有希¹⁾ 井上 拓也¹⁾ 諏訪部 桂¹⁾ 高橋 陽子¹⁾

美原 盤¹⁾ 美原 恵里²⁾ 美原 樹¹⁾ 高尾 昌樹^{1) 3)}

1)脳血管研究所 美原記念病院

2)脳血管研究所 介護老人保健施設アルボース

3)国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部

〔当施設の取り組みについて〕当施設は 2007 年にブレインバンクを設置、解剖、その後の組織診断が行える体制を確立し、症例を蓄積してきた。右脳と脊髄の一部、必要に応じて一般組織を-80℃で保管し、分子生物学的解析、研究のために保存している。また、他施設からの解剖依頼や標本作製、病理診断依頼も受け入れる体制を整備した。特に、解剖に関しては、感染の危険性から剖検が行われないプリオン病や解剖設備のない療養病院や老人ホームにおいて事前同意されている症例については各施設と連絡を取り、当院に搬送して対応している。

〔実績〕当施設の 2022 年 2 月末の現状を報告する。2022 年度は 12 月末時点で、プリオン病 9 例、超百寿者 2 例の計 11 例を登録。解剖依頼は 7 症例、標本作製・診断依頼は 4 件、試料の提供に関しては 29 例であった。現在、325 例の凍結試料を有しており、最も多い疾患はプリオン病で 87 例。本疾患に関しては、臨床診断、入院受け入れ、剖検、組織診断まで対応をしている。次に多いのは筋萎縮性側索硬化症の 42 例。続いて脳梗塞 27 例、脳出血 24 例、アルツハイマー型認知症 22 例、レビー小体型認知症 16 例、神経原線維変化型認知症 15 例、パーキンソン病 12 例、多系統萎縮 10 例、脊髄小脳変性症 6 例、進行性核上麻痺 6 例、大脳皮質基底核変性症 3 例、その他の神経変性疾患 5 例、110 歳以上の超百寿者 23 例、その他の症例が 27 例である。当施設の活動が関係者に知られるようになり、患者本人や各施設から多くの問い合わせをいただき、解剖に至るケースが多くなってきている。今後、これら貴重な機会を失することが無いように各施設と連携を取り、解剖依頼に対応していきたい。